



新政会
渡邊 龍之
議員

新年度予算について

質問 新年度予算編成における基本方針の重点、オール滝川というコンセプトについて伺う。

答弁 新年度予算の基本方針は①滝川市総合計画の2年目として、将来都市像の実現に向け従来の取り組みを検証し目標を推進します。②新たな行政課題の対応には市民ニーズを把握し、事業の選択と集中を図ります。③将来にわたり健全な財政運営に努めます。④国の動向に対しては、的確に対応してまいります。

オール滝川の考え方は、単一の部署にとらわれずに厳しい予算の中において取捨選択を行い、先送りすることなく決断していく責任があることを広く認識していくことが重要と考えます。

ストックマネジメントについて

質問 公共施設のあり方と施設等の見直しを含め、中・長期的な工

程表を示すべきではないか。

答弁 新年度に策定予定の滝川市公共施設マネジメント計画は、施設の分野別のあり方と小学校区をベースとする地区別の公共施設のあり方を描いていく考えです。

今後10年間程度を集中取り組み期間と位置づけ、施設の削減や計画的修繕と歳入の確保、官民連携の導入、余剰施設の処分、施設の広域化等について、できるところから進めてまいります。

各種事業の見直しについて

質問 市が直面する諸課題と事業目的に沿った検討が重要と考える。総合計画との整合性から各種事業の見直しと整理をどのように進めるか。

答弁 政策の形成過程において、市民に必要な施策・事業を職員自らが選択するように心がけています。さらに、優先度・緊急度・事業効果を吟味し政策形成を進めているところで、総合計画の推進にあたっては、民間活力の導入や各施策や事業を複数組み合わせるなど、効率化することにも力を注いでいきます。



新政会
山口 清悦
議員

防災対策について

質問 Jアラート・Mネットの情報コミニティFM放送を利用して住民に告知する方式を構築すべきと考える。また市内のFM難聴地域に中継アンテナを設置するべきと考えるが見解を伺う。

答弁 携帯電話のエリアメールの活用、エフエムGスカイに詳細情報を提供して周知する等で対応しています。難聴地域の対応については、自治会からの情報収集と中継アンテナ申請のための総務省との協議について、エフエムGスカイと話し合っていくたい。

質問 室蘭市の停電災害を受けて、当市の予想される状況及び今後、早急に考えるべきことを伺う。

答弁 市内には変電所が4か所あり鉄塔が1、2か所が倒れても室蘭市のような停電は想定しづらいと思われる。防災協定を結んでいる団体や自衛隊駐屯地などに暖房機器や発電機等の提供を依頼する予定です。

滝川グリーンズについて

質問 ふれ愛の里の施設管理について経営陣が刷新し、レストラン委託業者も変わったことから新たに民間譲渡等に踏み切る財政状況や時期についてどう考えているか。

答弁 鈴木副市長を含め、新たに2名の副社長が就任し、レストラン部門も有限会社プラスワンに変わり経営改善に努めています。また第2次経営改善計画の見直しも行っていますが、赤字決算になり回復が見込めない場合を民間譲渡へ踏み切る分岐点と捉え、抜本的な見直しの検討に入ります。

教育行政について

質問 滝川西高等学校硬式野球部を甲子園に送るためにプロジェクトを立ち上げ、市及び学校も市民と一体になってバックアップするべきと考えるが見解を伺う。

答弁 甲子園出場はマチの明るい話題となるなど大きな効果があります。応援プロジェクトをどのようにするかを地域の支援もいたしながら検討してまいります。